

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

衝撃は、突如訪れる。

モノクロームに放たれる眩い閃光。
ジャズのリズムが狂乱を生み、意識が遠のく。
思わず、冷たい地面にへたりこんだ。



スクロヴァチェフスキ:
ミュージック・アット・ナイト
SKROWACZEWSKI: Music at Night

モーツァルト:
フルートとハープの
ための協奏曲 八長調 K.299(297c)
MOZART: Flute and Harp Concerto
in C major, K. 299 (297c)

ジョン・アダムズ:
シティ・ノワール
JOHN ADAMS: City Noir

読売日本交響楽団 第583回 定期演奏会

11/28 (水) 19:00 **サントリーホール** S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥4,000
Subscription Concert, No. 583 / Wednesday, 28th November, 2018 19:00 / Suntory Hall

読響 チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時)
<https://yomikyo.or.jp>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
協力: アフラック
平成30年度(第73回)文化庁芸術祭協賛公演

ジョン・アダムズの話作「シティ・ノワール」を演奏! 世界的名手パユとラングラメによる極上のモーツァルト。

コアなファンを持つ名匠デニス・ラッセル・デイヴィスが3年ぶりに読響に登場する。数々のCDをリリースし、ミニマル音楽などの現代作品を得意とするマエストロとして知られているが、ドイツ・オーストリアの名門楽団や劇場で長年にわたり実績を積み上げたことから分かるように、レパートリーは極めて広い。そんなキャリアを持つデイヴィスの音楽の特徴は、全体の見通しがよく俯瞰的な視点を持ち、確固とした構成美を築きながら、そこに彼特有の温もりや人間味が見事にブレンドしていることだ。今回の凝ったプログラムでも、彼の巧みな音づくりが十分に発揮されることだろう。

注目は、後半に演奏する現代アメリカを代表する作曲家ジョン・アダムズの「シティ・ノワール」だ。2009年にドゥダメル指揮のロサンゼルス・フィルによって世界初演された作品で、その後も世界各地のオーケストラで演奏されている話題作。金管楽器がパルスのような閃光を放つ衝撃的な冒頭の後、30秒後にはドラムでリズムが刻まれ、瞬く間にジャズの世界へと誘い込んでゆく。1940~50年代のモノクロ映画「フィルム・ノワール」を連想させながら、重厚な管弦楽とジャズ風のリズムが織り交ざった音楽が展開。トロンボーンやトランペットなどの叙情的で哀愁漂うソロを聴かせた後、次第に熱を帯びて金管楽器が咆哮し、スピード感を保ちながら一気に駆けぬける。この創意に富んだ傑作で、名匠デイヴィスの熱いタクトは鮮烈なリズムと明晰なサウンドを生み出すだろう。

前半には、ベルリン・フィルの顔として活躍するフルートのパユ、ハープのラングラメの二人を迎えて、モーツァルト「フルートとハープのための協奏曲」を演奏する。モーツァルトの優美な名曲で、名手パユの伸びやかな美しい音色とラングラメの息の合った名人芸をたっぷりご堪能いただきたい。

冒頭には、17年に2月に逝去、第8代常任指揮者も務めたスロヴァチェフスキ作曲の「ミュージック・アット・ナイト」を演奏する。生前親交を深めていたデイヴィスがスロヴァチェフスキへの哀悼の意を込めてタクトを振る。



デニス・ラッセル・デイヴィス (指揮)
DENNIS RUSSELL DAVIES, Conductor
オペラとコンサートの双方で活躍するアメリカの名匠。1944年生まれ。シュトゥットガルト歌劇場音楽総監督、ウィーン放送響首席指揮者、リンツ・フルクナー管音楽監督、スイス・バーゼル響首席指揮者などを歴任し、現在はチェコ国立ブルノ・フィルの芸術監督及び首席指揮者を務める。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、シカゴ響、ニューヨーク・フィル、サンクトペテルブルク・フィルなど世界の一流楽団を指揮。オペラではメトロポリタン歌劇場、ハリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、ザルツブルク音楽祭などで活躍。バロックからミニマル音楽など現代音楽まで幅広いレパートリーを誇り、グラスの歌劇《迷える者の跡》など数々の世界初演を行っている。



エマニュエル・パユ (フルート)
EMMANUEL PAHUD, Flute

ベルリン・フィル首席奏者を務め、ソロでも活躍する世界最高峰のフルート奏者。1970年ジュネーヴ生まれ。パリ国立高等音楽院卒業。神戸国際コンクール第1位、ジュネーヴ国際コンクール第1位など輝かしい受賞歴を誇る。93年ベルリン・フィルの首席奏者に就任。2000年ベルリン・フィルを退団し、01年6月までジュネーヴ音楽院教授として後進の指導にあたる。02年にベルリン・フィルに復帰し、以後同団首席奏者として活躍。ソリストとしてバイエルン放送響、ロンドン響、フランス放送フィルなど世界の一流楽団と共演。録音ではEMI(現ワーナー)と専属契約を結び、20枚を超えるCDをリリース。特にラングラメとの「モーツァルト:フルートとハープのための協奏曲」は名盤として名高い。



マリー=ピエール・ラングラメ (ハープ)
MARIE-PIERRE LANGLAMET, Harp

アバド、シュタイン、ヤノフスキ、ラトルら巨匠が称賛する世界的ハープ奏者。仏グルノーブル生まれ。8歳でニース音楽院に入学、フオンタン=ピノシュに師事し、15歳でマリア・フォルチンスカ国際コンクールの最高位を受賞。翌年にはシテ・デザール国際コンクールで優勝。17歳でニース歌劇場管の首席ハープ奏者に就任後、アメリカへ渡りカーティス音楽院で研鑽を積む。20歳から5年間メトロポリタン歌劇場管の副首席奏者を務め、イスラエル国際コンクールなどで優勝。1993年ベルリン・フィルの首席ハープ奏者に就任。ソリストとしてベルリン・フィル、イスラエル・フィル、スイス・ロマン管などと共演。09年には仏芸術文化勲章「シュヴァリエ」を受章。

読響日本交響楽団 第583回 定期演奏会

2018年 **11月28日** (水) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017